



廃棄物等の発生量および有効利用量



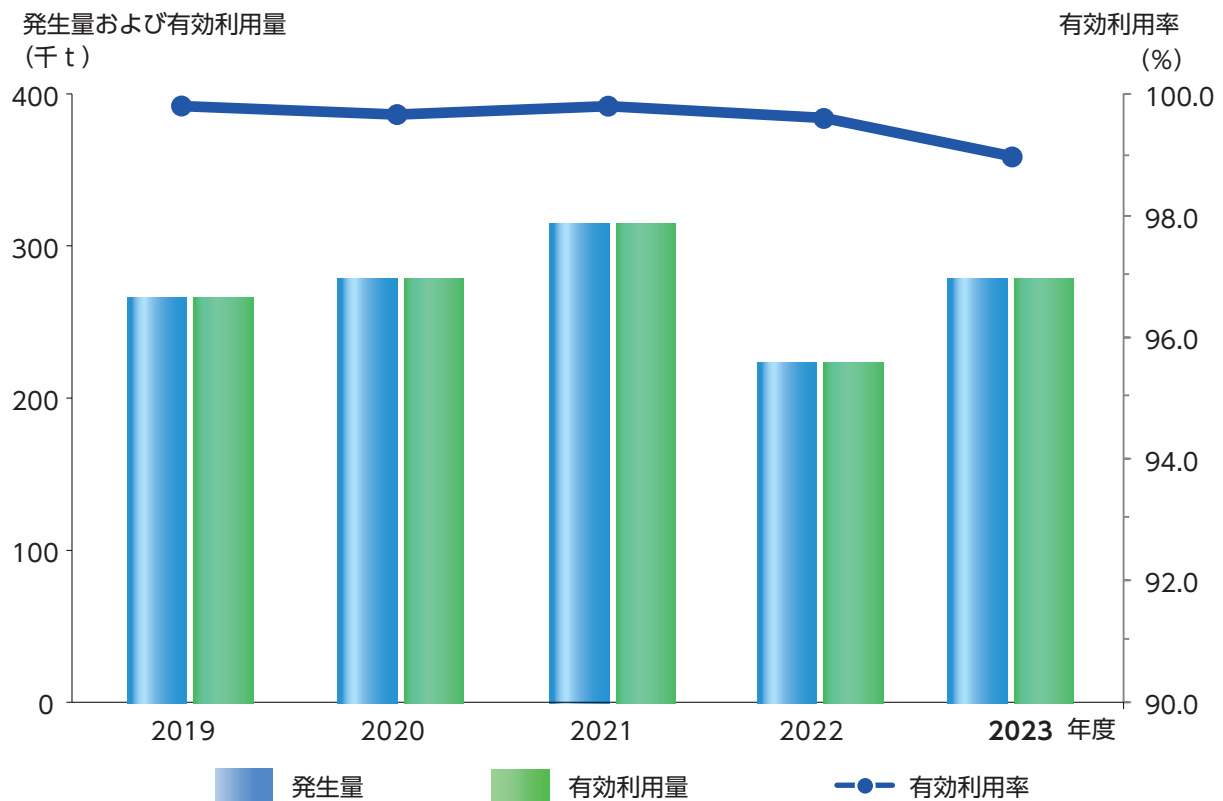
(2023年度)

廃棄物の種類	発生量 (t)	有効利用量 (t)	有効利用率 (%)
石炭灰	280,303	277,333	98.9
石こう	80,404	80,175	99.7
金属くず	6,756	6,716	99.4
汚泥	2,729	945	34.6
重原油灰	1,047	616	58.8
廃プラスチック類	86	55	64.0
その他	998	801	80.3
合計	372,323	366,641	98.5

※ 表中の数値は四国電力、四国電力送配電が排出事業者となる廃棄物について集計したものです。

四国電力が排出する廃棄物には、石炭火力発電所から発生する石炭灰のほか、石こうや金属くず等があり、それぞれリサイクルなどの取り組みを実施しています。

石炭灰有効利用状況



	2019	2020	2021	2022	2023
発生量 (t)	265,710	278,490	314,994	223,630	280,303
有効利用量 (t)	265,253	277,592	314,392	222,680	277,333
有効利用率 (%)	99.8	99.7	99.8	99.6	98.9

石炭灰は、セメント原料、コンクリート混和材および土壌改良材などとして、これまでほぼ全量を有効利用しています。

また、2020年3月には、土壌改良材・軽量盛土材の「ポーラスサンド」が、徳島県の「認定リサイクル製品」に採用され、同製品のリサイクル認定は2012年度の愛媛県に続き、2例目となります。



ポーラスサンド